



研究者名※	奥畑 豊	学位※	PhD
所属※	文学部 英文学科	職名※	講師
連絡先	okuhatay@fc.jwu.ac.jp		
URL	http://www.		
researchmap※	https://researchmap.jp/yokuhata		
研究分野※	英米・英語圏文学		
研究キーワード※	政治、核、独裁、ホロコースト、冷戦、戦争		
共同研究・競争的 資金等の研究課題			
社会貢献・産学官 連携活動等			
受賞歴			

研究領域	(SDGs)
研究テーマ※	イギリスを中心とする現代の英語圏文学
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 主に第二次世界大戦や全体主義、独裁者の登場、ホロコースト、脱植民地化、福祉国家の誕生と解体、ヴェトナム戦争、米ソ冷戦下における核の脅威、新自由主義、サッチャリズムといった二十世紀の現実世界における政治的ないし歴史的な事象が、イギリスを中心とする現代文学に及ぼした影響について幅広く考察している。</p> <p>【応用例、研究の展望】 ①アンジェラ・カーター研究: 先行研究やアーカイヴ資料、及び冷戦下における政治状況や核兵器に関する作家自身の言説を手掛かりに、二十世紀後半の「戦後」という特異な時代における人間のモータリティ、すなわち生と死の在り方そのものの変貌に対する彼女の問題意識を、彼女の小説作品やフェミニズム思想に通底するものとして位置づけ直すことを試みている。 ②ハロルド・ピンター研究: コミュニケーションの断絶や暴力的な闘争に満ちたピンターの不条理演劇を、ホロコーストを巡る記憶の政治学という観点から再考し、それをいわゆる「アウシュヴィッツ以後」の芸術の一つの在り方として読み直している。 ③独裁者小説の研究: 冷戦に先立つスターリニズムやファシズム／ナチズムの台頭に始まり、第二次世界大戦、米ソの核軍拡競争、独立後のアジア・アフリカ諸国における開発独裁の確立、イスラム圏の紛争、覇権国アメリカの「帝国」化、そして冷戦終結に伴う東側独裁体制の崩壊にまで至る世界史の展開を追いながら、それに伴って変化してゆく文学作品内の独裁者表象を多角的に分析している。 ④比較文学研究: 現代日本の表象という観点から、イギリス現代文学を考察している。</p> <p>【研究方法の特色】 言語マテリアルの精読と分析、アーカイヴ資料の調査など。</p>
本研究関連 特許・論文等	・ ・
共同研究・外部機関 との連携への期待	・ ・